

美浜町住民活動災害補償制度

町民みなさんが利用できる制度です

●住民活動災害補償制度とは…

区や子ども会、老人クラブなどの各種の住民団体が行う住民活動中に、偶然起った事故により参加者がケガをしたり、死亡した場合や、ボランティアで活動している指導者が法律上の賠償責任を被った損害を補償する制度です。

●対象となる住民団体は…

活動拠点を町内に置き、かつ5人以上の町民で組織されている団体です。また、当該団体において全体の7割以上を町民が占める場合には町外の方も対象となります。

●対象となる住民活動は…

住民団体が無報酬で行う社会福祉活動や文化・スポーツ等のボランティア活動です。

●補償金の請求の手続きは…

事故等が発生した場合、補償金の請求手続きは住民団体の責任者が行ってください。

①事故の通知 ②補償金請求書類の提出

住民活動災害補償制度を適用する場合は、事前に団体登録が必要となります。

【傷害補償】

管理者側の賠償責任の有無に関わらず、住民活動参加者が活動中に発生した事故により死亡やケガをした場合に補償されます。

- ・死亡補償金 300万
- ・後遺障害補償金 9~300万
- ・入院補償金 日額3,000円 (180日を限度とする)
- ・通院補償金 日額2,000円 (90日を限度とする)
(入院・通院併せて180日を限度とする)

【賠償責任補償】

住民団体等の指導者が活動中に管理監督者等の過失により、参加者や第三者が負傷した場合や財物に損害を与える、法律上の損害賠償を負った場合などが対象です。

補償される金額 <てん補限度額> <免責額>

【身体】 1人	6,000万円	5,000円
1事故	2億円	5,000円
【財物】 1事故	100万円	5,000円

※お問い合わせ先 町住民生活課（担当・津原）

☎32-6703

Uターン就職企業説明会

県では、県外の大学、短大、専修学校等に進学された方の県内へのUターン就職を支援するため、県内企業説明会「ふくい企業探訪」を開催します。県内外での就職の足掛かりにもなりますので、県外に進学されているお子さんなどにもぜひご連絡ください。また、今後も説明会やセミナーの開催を予定していますので、県から就職関連情報を希望される方は、インターネットで「福井県Uターン情報センター」へ登録いただけます。県労働政策課へご連絡ください。なお、登録・情報提供は無料ですので、ぜひご利用ください。

●ふくい企業探訪		（東京会場）		（名古屋会場）		（大阪会場）	
・日時	2月18日（土）	・日時	2月11日（土）	・日時	2月11日（土）	・日時	2月25日（土）
・会場	中野サンプラザ	・会場	愛知県産業貿易館	・会場	大阪城ホール	・会場	大阪城ホール
・参加予定企業	40社	・参加予定企業	40社	・参加予定企業	60社	・参加予定企業	60社

●福井県Uターン情報センター

ホームページアドレス
<http://www.fukui-uturn.com/>

0776-20-0390
※お問い合わせ先
県産業労働部労働政策課

「みんなの小浜線」 図画コンクール入選作品展示！

～みんなの夢が動く電車内に描かれます～

●作品展示期間 2月1日（水）～2月28日（火）

（1か月間）

●作品展示場所 JR小浜線車内ポスター

（中吊りポスター部分）

但し、朝の4両編成は除く

※お問い合わせ先

小浜線利用促進協議会 ☎0770-53-1111

（小浜市役所 鉄道新線・公共交通課内）

小浜線利用促進協議会では、嶺南7市町村の小学校4年生を対象に「未来の小浜線に走ってほしい列車」をテーマとして、図画コンクールを開催します。入選作品は、小浜線車両内に展示されますので、皆さんぜひお誘いの上、地域の子どもたちが未来の小浜線へと夢に描いた作品をご鑑賞ください。

また、この機会を利用して環境にやさしい「みんなの小浜線」を一層ご利用くださいますようお願いします。

美浜町歴史シンポジウム

興道寺廃寺の謎に迫る ～古代若狭のテラとムラ～

会期：2月11日（土）・12日（日）
会場：町保健福祉センター「はあとぴあ」

※それぞれの講演・報告・シンポジウムは興味をお持ちの部分のみ参加することもできます。



土器製塩の風景
「ふくい発掘最前線 1998」から転載

【11日】

- 13:10～ 記念講演「古代地方寺院の調査と活用」
13:50～ 報告1 「古代遠敷郡の寺院と集落そして生産遺産」
14:40～ 報告2 「古代三方郡の寺院と集落そして生産遺産」
15:30～ 報告3 「興道寺廃寺と興道寺遺跡」

【12日】

- 9:30～ 講演1 「地方古代寺院の成立と展開」
11:00～ 講演2 「若狭周辺の古代寺院と出土瓦」
13:00～ 講演3 「古代寺院と在地社会」
14:15～ 講演4 「興道寺廃寺のその後」
15:00～ シンポジウム「興道寺廃寺の謎に迫る
～古代若狭のテラとムラ～」

興道寺遺跡の謎に迫る ～古代若狭のムラとシオ～

会期：2月19日（日） 会場：中央公民館ホール

- 10:00～ 講演1 「律令国家と在地社会～若狭・隱岐・志摩～」
11:10～ 講演2 「浦入遺跡から見た若狭湾岸の土器製塩」
13:00～ 報告1 「湖西地域の官衙遺跡と製塩土器」
13:30～ 報告2 「興道寺遺跡が語る律令集落と製塩土器」
14:00～ 講演3 「都城出土木簡が語る若狭の塩」
15:00～ 講演4 「若狭地方の土器製塩と官衙遺跡」
16:00～ シンポジウム「興道寺遺跡の謎に迫る～古代若狭のムラとシオ～」

※お問い合わせ先 町教育委員会事務局〈文化財保護・町誌編纂室〉（担当・松葉） ☎ 32-0027

美浜文化叢書刊行会

会員募集

叢書：種々の書物を集めて大きく

まとめ、一定の形式で継続して刊行される出版物

町では、平成9年度から美浜町誌編纂委員会を設立して、全11巻におよぶ美浜町誌を刊行中で、春には、6冊目を刊行する予定です。

この美浜町誌刊行に際し、町民の皆さんから多くの貴重な歴史、民俗等に関する文献・資料をお寄せいただいていますが、ページ数等の制約の中で、そのすべてが取まりきらないのが実情です。そこでこの度、「美浜文化叢書刊行会」を設立し、これらの中でも貴重な文献・資料と町内で近世以降に刊行されたり、町内の関係者が個人で刊行し、すでに絶版になつてしまつた書籍の中から、美浜の文化をたどる上で、重要な位置を占めるものについて、再刊・復刻するため、「美浜文化叢書」を発刊することなりました。

現在、同会では会員を募集しています。美浜の歴史、民俗等に、興味・関心を持ち、保存して行くことに賛同される方はぜひご入会ください。なお、会員には発刊した叢書を1冊贈呈します。

【刊行予定】 ● 平成17年度（第1回）刊行

小林一男氏（新庄）が「農協だより」などに寄稿した『ふるさとの暮らし』をはじめ、氏が執筆したもののが中心になります。

● 平成18年度（第2回）刊行

浅妻正雄氏（大藪）が、個々に執筆発行された『ふるさと散歩』が中心になります。

● 平成19年度（第3回）刊行

未完の大正12年『耳村誌』方郡案内』ほか

● 平成20年度（第4回）刊行

明治42年9月刊行の『若州三

● 平成21年度（第5回）刊行

昭和30年陰曆5月、本間諦觀氏稿の『古觀』

● 平成22年度（第6回）刊行

鳥井家本『朝倉始末記』行事

『美浜の神社と寺院を歩く』美浜町誌第3巻『拝む・描く』に未

※お問い合わせ先
町教育委員会事務局

文化財保護・町誌編纂室

32-0027

暮らしを支える「税」って大切なんだね！



税金教室

町では、町内の小・中学生を対象に税について学ぶ「税金教室」を毎年行っており、今年度は11月25日に新庄小学校、12月19日に弥美小学校、1月16日に美浜北小学校の児童を対象に教室が開かれました。講師は、町税務課や敦賀税務署の職員が務め、小学生では身近に感じる機会が少ない「税」について、その使われ方や大切さ、また、「もし税がなかつたら」などを分かりやすく説明しました。

児童らは、自分たちの生活の中で、さまざまところに税が使われていることに驚き、社会を支える税について熱心に学んでいました。

まち ウォッチング

写真を中心に身近な出来事をお知らせします。



♪ビッグバンドが クリスマスを演出♪ 白井淳夫スヰンギンバンド クリスマスジャズライブ

12月23日に、サックス奏者の白井淳夫さんが率いるジャズバンド「白井淳夫スヰンギンバンド」のクリスマスジャズライブが中央公民館で開かれました。

会場では、ジャズの定番曲のほかにクリスマスにちなんだクリスマスソングメドレーなどが披露され、集まった約150人の観客は音楽に合わせて、手拍子をしたり、体を揺らしたりするなど、ジャズの調べに酔いしれていきました。

